

令和3～5年度
探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業
実践報告



廿日市市立宮島小・中学校



3年間の研究を振り返って、取組内容・成果と課題をまとめました
～ はじめましょう 探究 つけましょう 資質・能力 ～

単元づくり

- 1 資質・能力の設定
資質・能力の系統
- 2 単元の系統
- 3 単元構想
- 4 ルーブリックの設定

実践事例

- 小学校6年
宮島の町並みを伝えよう
- 中学校2年
人々はなぜ働くのだろうか
- 中学校2・3年
宮島☆未来プロジェクト

振り返り

- 振り返りシートの工夫
1枚ポートフォリオ
宮島ファイル
(9年間の学びを蓄積)
変容の見取りを研修

成果と課題

- 児童生徒アンケート結果
今後に向けて
児童生徒・教職員・地域
の変容

児童生徒にとって「やってみたい」充実した活動を通して資質・能力をつける。そのために
9年間を見通すこと・単元構想に力を注ぎました。

児童生徒が主体的に活動し、実践を日常につなぐ。そのために
振り返り活動・環境構成の工夫に取り組みました。

1 資質・能力の設定

学校教育目標

自己の未来を切り拓いていく児童生徒の育成

～あいさつができる子 資質・能力を身に付けた子 宮島に思いを馳せる子～

総合的な学習の時間の目標

地域と自分の生活とのかかわりについて、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的及び協働的に探究することを通して、問題解決する資質や能力を育成し、地域を支え、地域に貢献し、自己の未来を切り拓いていく児童生徒の育成をめざす。

知識・技能	思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等		
おもてなし力	伝える力		見つめる力		
地域とのかかわりから宮島のもの・人・こと、それらに対する思いや願いを理解して地域に働きかける。 (郷土愛)	自分の考えを経験や知識と結び付けて分類・整理するなどして、情報を扱っている。 (整理・分析)	目的や意図に応じて、効果的に自分の考えをまとめ、相手を意識して表現している。 (表現力)	より高い目標を立て、努力しようとしている。 (主体性)	課題解決に向けて、他者と力を合わせて考え、実行しようとしている。 (協働性)	自分の将来について具体的に考え、夢や希望をもつ。 (将来展望)

1 資質・能力の系統

観点	付けたい資質・能力		資質・能力が身に付いた児童・生徒像	前期(1~4年)	中期(5~7年)	後期(8・9年)
	知識・技能	おもてなし力	宮島のことを地域の願いとともに深く理解し、伝えたい内容を構築していく	○地域とのかかわりから宮島のもの・人・こと、それらに対する思いや願いを理解して地域に働きかける。 (郷土愛)	・身近な人とのかかわりを通して、宮島には何があるか、どのような関係があるのか等の特徴が分かり、地域に親しみや愛着をもつ。	・地域の人や文化等のかかわりを通して、宮島で暮らす人々の思いや願い、地域のよさが分かり、愛着をもつ。
思考・判断・表現	伝える力	身に付けた知識・技能を活用して、相手や目的に応じて他者に伝えていく	○自分の考えを経験や知識と結び付けて分類・整理するなどして、情報を扱っている。 (整理・分析)	・事象を比較したり分類したりして理解し、多様な事象の中にある特徴を見つけている。	・整理した情報を関連づけて理解し、多様な情報の中にある特徴を見つけている。	・事象を比較したり因果関係を推論したりして理解し、多様な情報を分析している。
			○目的や意図に応じて、効果的に自分の考えをまとめ、相手を意識して表現している。 (表現)	・相手に応じ分かりやすくまとめ、順序に沿い、理由をつけて表現している。	・相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、構成を考え筋道立てて表現している。	・相手や目的、意図に応じて効果的に表現している。
学びに向かう力・人間性等	見つめる力	学習を通して自分と社会のつながりに気づき自己理解や将来への展望へつなげる	○より高い目標を立て、努力しようとしている。 (主体性)	・自分の疑問から問題を見つけ、自分にできることを考え行動する。	・自己のふり返しから目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。	・目標を明確にし、課題の解決に向けて、計画を立てて行動する。
			○課題解決に向けて、他者と力を合わせて考え、実行しようとしている。 (協働性)	・身近な人と協力して課題を解決しようとする。	・他者と協働して課題を解決しようとする。	・互いの特徴を生かし、他者と協働して課題を解決しようとする。
			○自分の将来について具体的に考え、夢や希望をもつ。 (将来展望)	・自分の将来の夢や希望をもつ。	・自分たちの生活を考える大切さを理解し、夢や希望をもつ。	・将来の自分たちの生活を具体的に考え、夢や希望をもつ。

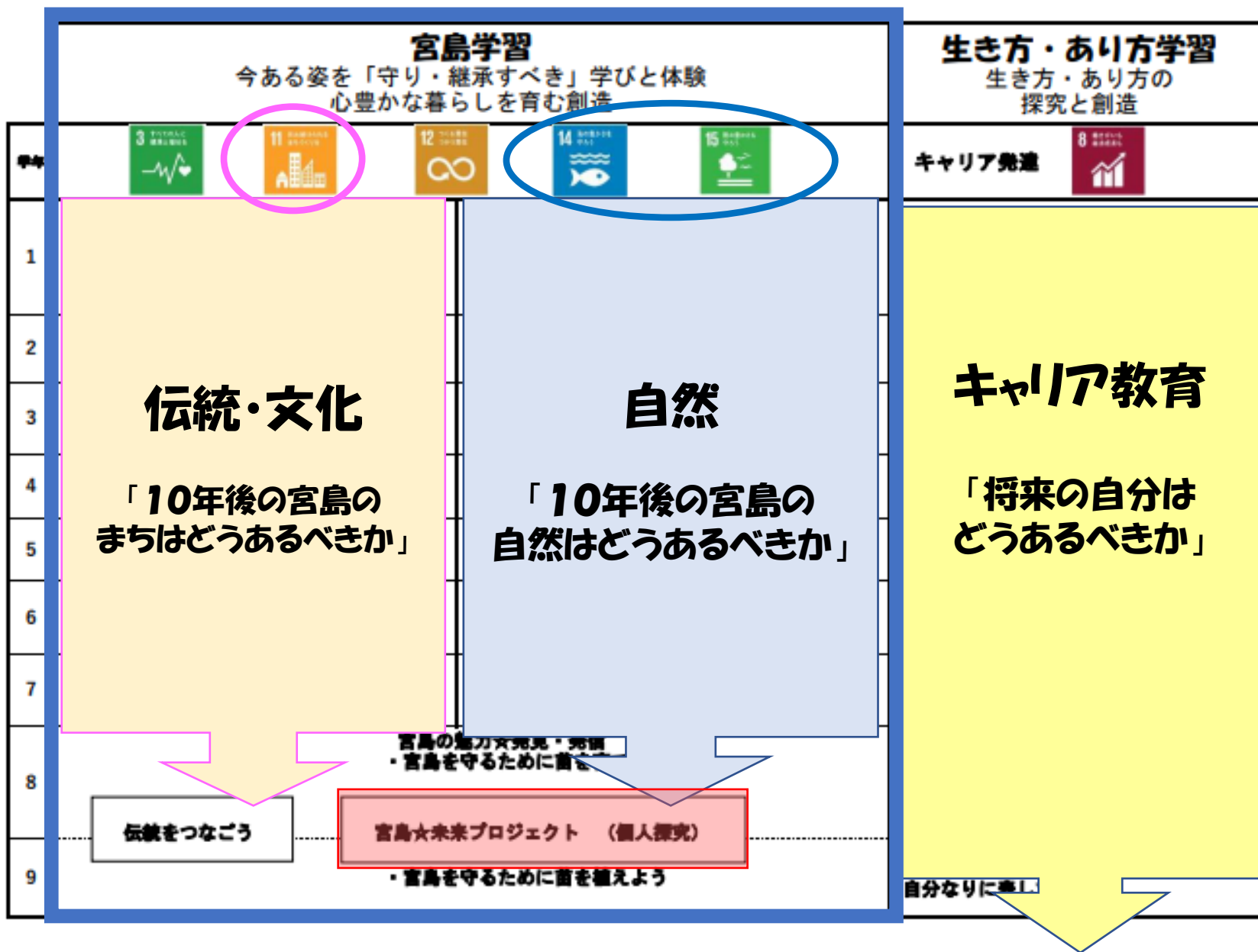
2 単元の系統



宮島学習 今ある姿を「守り・継承すべき」学びと体験 心豊かな暮らしを育む創造		生き方・あり方学習 生き方・あり方の 探究と創造
年		キャリア発達
1	がっこうだいすき いきものなかよし なつがやってきた たのしい あき いっぱい (7年生とドングリの殻子を植える) ふゆをたのしもう	もうすぐ2年生
2	たんけん はっけん 大すき宮島 生きものなかよし大きくせん ぐんぐんそだて わたしのやさい	あしたへジャンプ
3	宮島の行事を伝えよう やさしい町 宮島を見つけよう 宮島の昔のくらしのよさを伝えよう	
4	宮島杓子のすばらしさを伝え隊 マイタイムラインをつくろう (8年生と昔を植える)	10才のつどいで アップデートしよう
5	宮島伝統工芸展らん会を開こう 宮島の海を守るために行動しよう 環境シンポジウムを開こう	自然の中で仲間と協力しよう パワーアップ中翔生!
6	伝統をつなごう 宮島の歴史を発見しよう 宮島の町並みを伝えよう	未来の自分に手紙を書こう
7	伝統をつなごう 宮島の自然を守るために行動しよう (1年生とドングリの殻子を植える)	自然の中でリーダーとして 仲間と協力しよう 働くことを自分事にしよう
8	宮島の魅力★発見・発信 ・宮島を守るために苗を育てよう 伝統をつなごう 宮島★未来プロジェクト (個人探究)	自分の適性と職業を 関連付けよう なぜ人々は働くのだろうか
9	宮島を守るために苗を植えよう	自己のありたい将来を 自分なりに表してみよう

生活科・総合的な学習の
時間の学びの系統を整
理した。
「宮島学習」と
「生き方・あり方学習」

2 単元の系統



「宮島学習」は、2系統
に分類

- 伝統・文化など
まちづくりに関するもの
- 自然環境

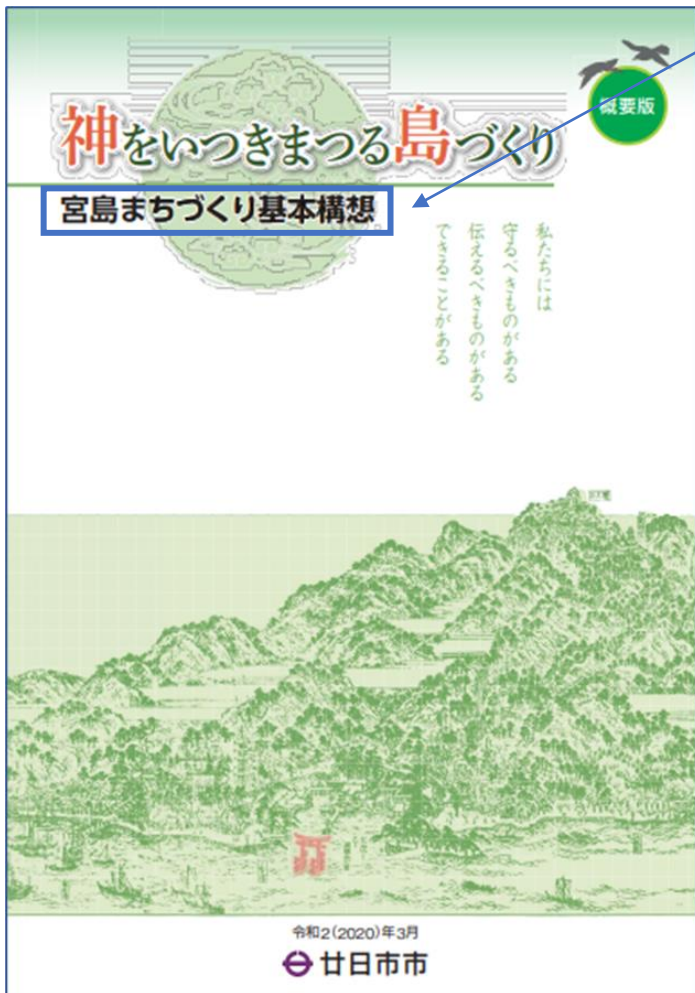
↓

それらの集大成として
「宮島☆未来プロジェクト」
に取り組む。これは、自
分の関心ある分野から
課題を設定し解決を目
指すもので

中学校2年 30時間
中学校3年 30時間
を充てる。

3 単元構想（市の取組を知る）

宮島の「あるべき姿」「ありたい姿」を明らかにしたまちづくりの理念・方針・将来像を示す長期的な指針



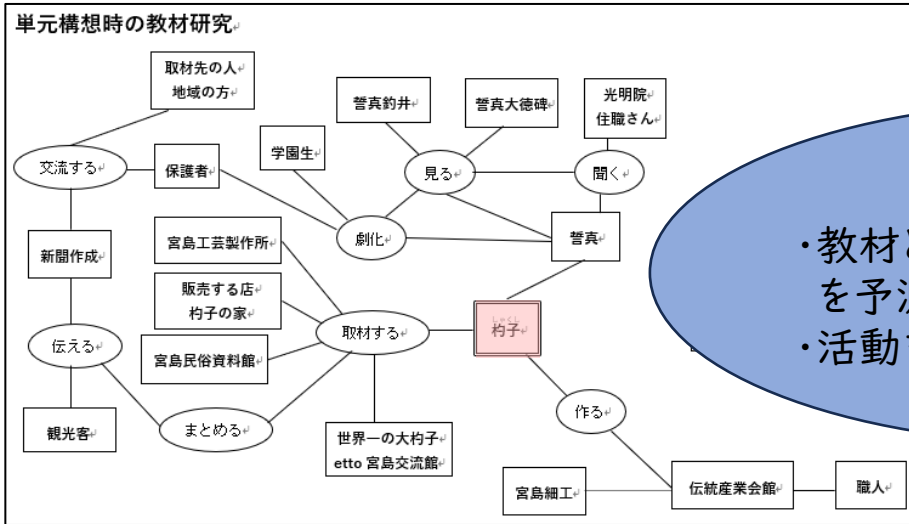
10 具現化に向けて	
まちづくりを実現するために今の現状から理想の姿へ具体的な取組を進めていきます。	
取組案	
自然 自然環境の保護とともに、観光や学習の資源として活用を進めます。 ● 自然環境や生態系の保護や保全 ● 自然公園の整備の推進 ● 全島博物館としての資源活用 など	
文化・歴史 宮島の伝統文化の保存伝承とともに、観光や学習の資源として活用を進めます。 ● 歴史的町並みの保存・再生 ● 歴史民俗資料館の改築 ● 全島博物館としての資源活用 など	
産業・観光 生活と共生する国際観光拠点の整備を進めます。 ● 持続可能な観光地経営 ● 観光客のマナーアップの取組 ● 核施設改修と旅客ターミナルの改修 ● AIやIoT・ICTを活用したハードやソフト整備 など	
生活・教育 守り伝える人を育て、活力ある地域を創ります。 ● 移住・定住の促進 ● フェリー利用の助成 ● 公共施設の適正供給 ● 児童生徒数の増加 など	
交通 交通インフラを整備し先進的な公共交通を導入します。 ● 歩行者空間の整備と無電柱化の推進 ● 自転車利用の抑制 ● 次世代モビリティの導入 など	
防災 ハードとソフトの両面から防災対策を強化します。 ● 防災施設、水防施設、消防施設の整備 ● 消防団員の確保 ● 避難体制の整備 など	
福祉・保健・医療 福祉・保健・医療の体制を整備します。 ● 福祉制度の充実 ● 子どもが促やかに育つ環境づくり ● 救急医療体制の充実 など	
交流 様々な交流や事業が推進される受皿を構築します。 ● 島づくり協議の設立 ● 宮島ルールブックの作成と普及 ● 交流施設の整備 など	

「宮島学習」の単元構想にあたり、考えたこと

Q:わたしたちができる地域貢献って？

A:廿日市市が策定した宮島まちづくり基本構想に沿って、現状の課題について地域と協働して、その解決に向けて取り組むこと

3 単元構想 (教材研究)



【指導者】

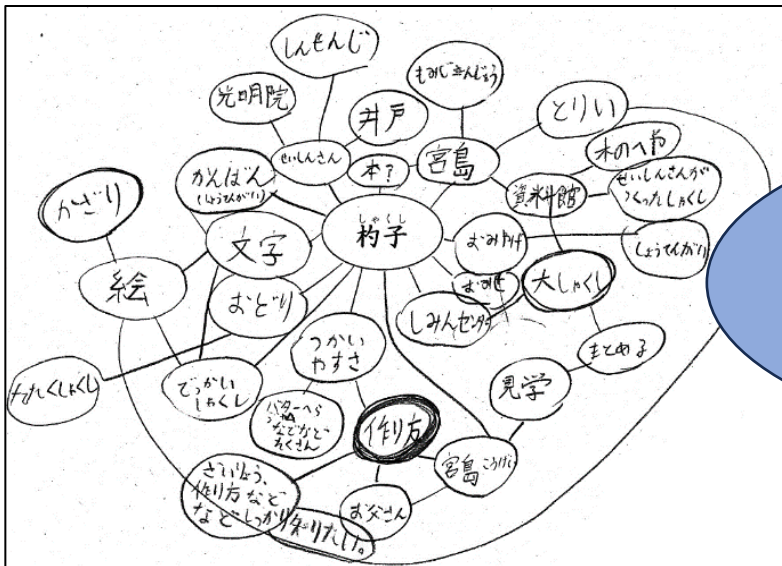
- ・教材としての「杓子」の広がりを予測
- ・活動を支援する地域資源

Q:単元の系統表のとおり、毎年同じ単元を実施するの？

A:いいえ。単元のテーマは同じでも、単元の活動・ゴールは、毎年児童生徒と指導者で決める。

教材研究をすることで、児童生徒の思いや願いに沿った活動をいくつも想定できるようになる

教材に広がりがあると、多様な見方が期待できる



【児童】

- ・「杓子」についての興味・関心
- ・知りたいこと、知っていること

小学校4年「宮島杓子のすばらしさを伝え隊」

ルーブリックの設定

(1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 杓子づくりに携わる人たちの思いに気付くとともに、それらは誓真の功績であり地域の人によって受け継がれてきたことを理解している。 【おもてなし力】 ② 見学やインタビューによる調査を相手や場面に応じて実施している。 ③ 杓子づくりに関する理解や大切にしたいという思いの高まりは、探究的に学習してきた成果であると気付いている。	① 誓真の功績や杓子づくりのよさを伝えるために、調べる方法や手順を話し合っている。 ② 誓真の功績や杓子づくりについて、必要な情報を収集している。 ③ 杓子づくりについて集めた情報を観点に沿って分類し、よさ・課題・人々の思いを適切に表す方法について考えている。 【伝える力(整理・分析)】 ④ 調査活動を通して知った杓子づくりのよさや自分の思いをまとめて、表現している。【伝える力(表現)】	① 誓真の功績や杓子づくりのよさを伝えるために、調べることを見つけ、見通しをもち活動しようとしている。 【見つめる力(主体性)】 ② 友達の考え、地域の方の考えを活かしながら協働して探究活動に取り組もうとしている。 【見つめる力(協働性)】 ③ 地域のよさを発信することを通して、今後も地域に愛着をもって行動し生活しようとしている。 【見つめる力(将来展望)】

(2) ルーブリック

	B	A
おもてなし力	杓子づくりの歴史や継承してきた人々の思いを理解している。 【知識・技能①】	杓子づくりの歴史や継承してきた人々の思いを理解し、これからも残していきたいものを持っている。
伝える力	集めた情報から、杓子づくりのよさを伝えるために情報を選んでいる。 【思考・判断・表現③】 杓子づくりのよさが相手に伝わるように、工夫して表現している。 【思考・判断・表現④】	次の活動を意識して、集めた情報から、杓子づくりのよさを伝えるために必要な情報を精査して選んでいる。 杓子づくりのよさと自分の思いが相手に伝わるように、工夫して表現している。
見つめる力	疑問などから設定した課題の解決に、粘り強く取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度①】	見通しをもって、疑問などから設定した課題の解決に、粘り強く取り組もうとしている。
	友達や地域の人々の意見を取り入れながら活動しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度②】	友達や地域の人々の意見を取り入れながら、相手意識をもって活動しようとしている。
	伝統工芸の杓子を残していくために、自分のできることを考え地域に働きかけようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度③】	伝統工芸の杓子を残していくために、自分のできることを考え地域に働きかけるとともに、これからの自分の生活に生かそうとしている。

本時の評価規準 ルーブリック

	B	A
伝える力	杓子のよさを伝えるために、内容や表現について意見を出したり、もらった意見をもとに新聞の表現を確かめたりしている。	杓子のよさを伝えるために、内容や表現について意見を出したり、もらった意見について自分の考えを話しながら新聞の表現を確かめたりしている。

小学校4年「宮島杓子のすばらしさを伝え隊」

単元の評価規準

↓
 付けたい資質・能力について、単元のルーブリックを設定
 ↓
 本時のルーブリックを設定
 ↓
 児童生徒と「めあて・ルーブリック」を共有



単元構想シート

小学校第6学年

総合的な学習の時間

単元(題材)名 宮島の町並みを伝えよう

① 本質的な問い (何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)

10年後の宮島はどうあるべきか。

② 単元を貫く問い (単元を通して考えを深めていく「問い」)

観光客に宮島の価値を伝えていくためにはどうすればいいのか。

③ 個別の問い (単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能)

- ・宮島の町家の特徴はなんだろう。
- ・町家に住んでいる人はどんな思いがあるのだろう。
- ・行政と宮島の町家はどのようにかかわり合っているのだろう。
- ・町家を保存するために、自分たちができることは何だろう。

単元計画の
構想を立て
る

- 1 宮島の町並みの特色を知る。
- 2 町家について地域に出かけて取材する。(ぎやらしい宮郷・町家で暮らす人・保存に携わる人など)
- 3 調べたことから町家のよさや課題・地域の人の思いをまとめ、伝える計画を立てる。
- 4 文化発表会で、学園生・先生方・保護者・地域の方々に対して町家の発表をする。
- 5 京都大原学院の6年生に対して宮島ガイドを行い、町家について伝え意見交流する。
- 6 etto 宮島交流館にポスターを掲示する。
- 7 学習を振り返る。



- ・児童がゴールを決める単元づくり
- ・多様な見方に触れる地域の方との連携
市の担当課の人
町家に住む人 店を営む人
保存活動に携わる人
地域のアマチュアカメラマン
- ・表現に対する他者評価

対象を広げながら、町並みの価値を伝えていく

「町家を遺してほしい」と思う人を
増やしたい!

プレゼンテーション



ポスター作成



宮島文化発表会で
学園生・保護者・地域の方へ



町案内

修学旅行で訪れた
京都大原学院の6年生へ

観光客へ
地域の方へ

文化発表会・ポスターはアンケートで、町案内は対話を通して評価を受ける

小学校6学年 宮島の町並みを伝えよう

多様な見方に触れる地域の本物との出会い



自分たちが決めた取材先で



地域のアマチュアカメラマンの方と撮影



1人1点作成したポスターは学園生・教員による投票で選出

広島都市圏

**宮島に残る町家
ポスターでPR
地元児童が制作開始**

廿日市市宮島町の宮島小6年生が、島内に残る町家の魅力をPRするため、13日には島民の案内で、めろのポスター作りを始めた。総合的な学習の一環として、13日には島民の案内で、めろのポスター作りを始めた。総合的な学習の一環として、13日には島民の案内で、めろのポスター作りを始めた。

宮島特有の「オウエ」を撮影する児童。奥には神棚もある

町家を訪れ、素材として使う写真を撮影した。この日は11人が島内に住むアマチュアカメラマン藤山尚志さん(82)の案内で、江戸時代に建てられた築約300年の町家の内部を撮影した。神棚や吹き抜けのある宮島特有の部屋「オウエ」や、長屋の中庭などにレンズを向けた。町家通りでも古い建物が並ぶ景色を写真に取めた。

厳島神社の門前町は2021年8月、国の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれている。ポスター作りは「宮島の町家を大切にしたい」と児童が提案した。今後の授業でレイアウトを考え、来年1月以降にetto宮島交流館やフェリィ旅客ターミナルに作品を掲示する予定という。

有本真望さん(11)は「宮島の町家は神様と一緒に暮らす場所。見た人が興味を持ってくれるポスターにしたい」と話していた。(八百村耕平)

単元構想シート

中学校第2学年

教科等 総合的な学習の時間

単元(題材)名 なぜ人々は働くのだろうか

① 本質的な問い (何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)

10年後の自分はどのようにありたいか。

② 単元を貫く問い (単元を通して考えを深めていく「問い」)

なぜ人々は働くのだろうか。

③ 個別の問い (単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等)

- ・働くことの意味や仕事について考えよう。
- ・将来、働きたい職種や職業(興味・関心がある職業)のことを調べよう。
- ・自分自身の中学校卒業後の進路について考えよう。
- ・自分の適性や特徴を知って進路選択に生かそう。
- ・宮島で働く人々の思いや考え、喜びや苦勞を知ろう。

単元計画の
構想を立てる

- 1 働くことの意味を考えよう。
- 2 自分の適性、自己を見つめてみよう。
- 3 身近に働いている人の話を聴こう。
- 4 職場体験に向けての心得を知ろう。
- 5 実際に働いた体験から、自分の生き方を考えよう。
- 6 体験したことや思ったことなどを意見交流しよう。
- 7 自己の将来の働き方を考えてみよう。



・職場体験学習を探究のサイクルに位置付けた
単元づくり

①働く価値や意義を探ろう
(職場体験学習)

②10年後の自分のビジョンを考えよう



中学校3年 生き方・あり方学習
「自己のなりたい姿を自分なりに表現しよう」

・自分の考えを整理・修正する他者との対話

中学校2学年 人々はなぜ働くのだろうか



職場体験学習を探究のサイクルに位置付けた単元づくり



8月 10事業所に分かれて職場体験

体験前	自分にできることで人の役に立ちたいです。なぜなら、自分にできることで人の役に立つことができたら、うれしいし喜んでもらえるとう仕事の達成感を感じることができるからです。
体験後	私が思う「何のために働くのか」は、体験前の考えと自分の成長のためだと思います。理由は、仕事をする事で多くの人と関わり、礼儀などいろいろなことを学ぶ機会があり、自分の成長につながるからです。

生徒の「働くこと」に対する意識の変容 一例

- 8月職場体験学習
生徒は、10事業所に分かれて職場体験をした。



働くことについて、事業所の方にインタビューを行う。

自分の体験から学んだこと・インタビューで感じたことなどをまとめる。

体験前と体験後の働くことの意義（「何のために働くのか」の答え）に変化が生じた。



学級で共有する。



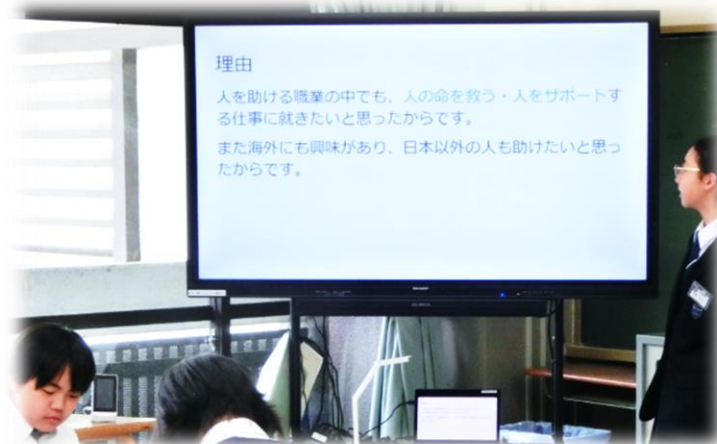
自分の考えを整理・修正する他者との対話



ゲストティーチャーとの対話



互いのアドバイスを読み合う



提言を発表

- 職場体験学習後
ゲストティーチャーとの対話を通して、「10年後の自分物語」を構想



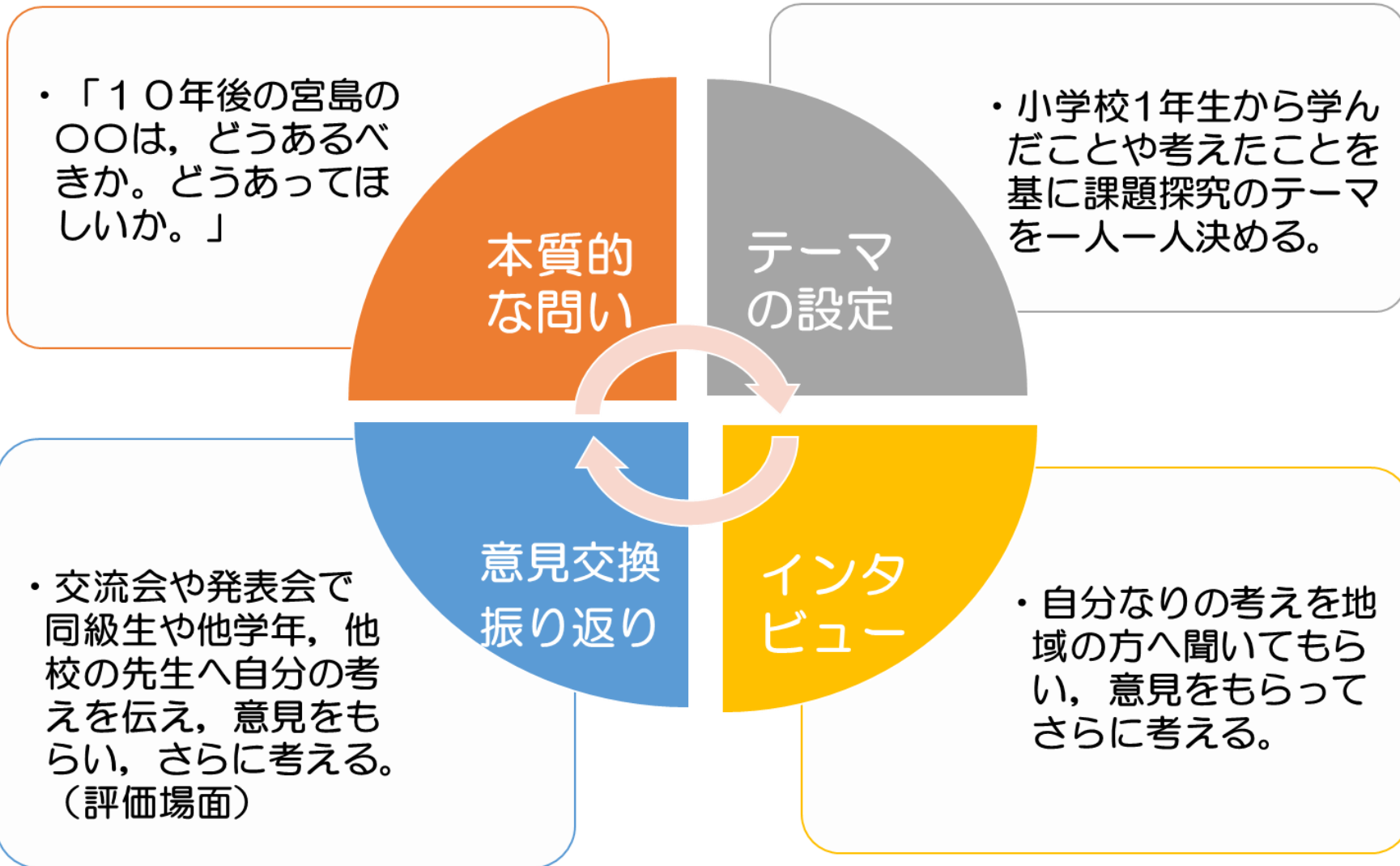
10年後の自分のありたい姿の実現に向け、自分に何が必要かを考えて提言を作成



学級内でアドバイスし合い、提言を練り直す

考えを引き出す問いかけが有効

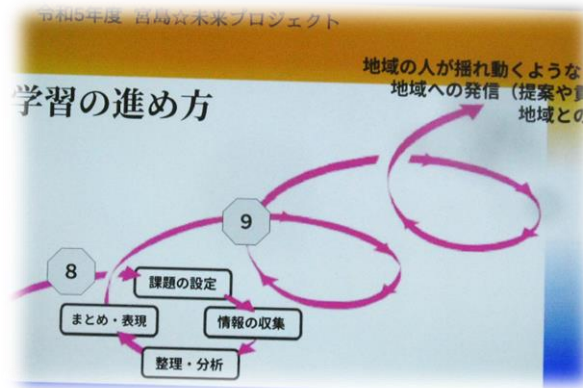
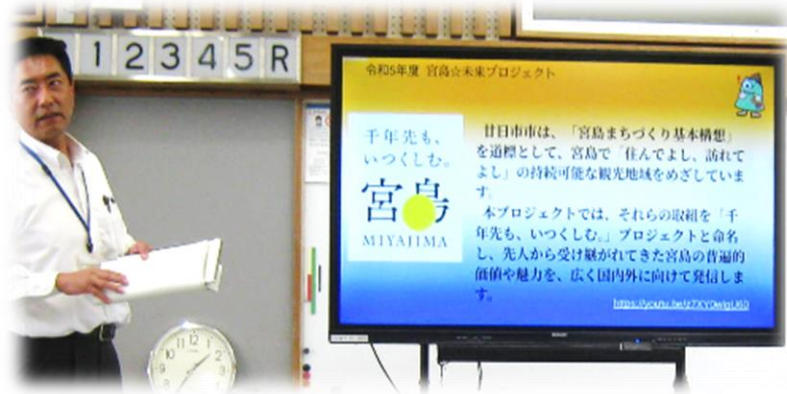
中学校2・3学年 宮島☆未来プロジェクト



課題設定を大切にする

これまでの学習を**宮島ファイル**をもとに振り返ったり、自分の興味・関心のある分野からじっくり考える。

NHK for schoolの「ドスル コスル」のワークシートを参考にした。



5月 中学校2・3年生対象にガイダンス

**10年後の宮島の〇〇は
どうあるべきか？
どうあってほしいか？**

**SDGsを意識して
学び続けるテーマを決めよう。**

5月 中学2年生3年生を対象にした「宮島☆未来プロジェクト」のガイダンスを実施

↓
**2年間継続して個人探究を行う
途中でテーマを変えることもOK**

↓
チューター制により、中学校教員が学びを支援

↓
中間報告の場で聞き手と交流し、感想や質問をもらい、深めていく

中学校2・3学年 宮島☆未来プロジェクト



地域に出かけ、インタビュー・調査



11月 中学2・3年生，教員を
対象に中間報告

最終報告を中学2年生は2月の参観日で中学1年生を対象に行い，中学3年生は3月に地域の方を対象に行う。今後は発表時期・対象者を検討していく。



中学校2・3学年 宮島☆未来プロジェクト

中学校3年生 設定テーマ例

令和四年度

○ 宮島に若年層を取り込み,まちの活性化につなげるには

○ 宮島のごみを減らすには

○ 宮島を鹿にとって良い環境にするには

○ 杓子は生き残るために,どうするか

令和五年度

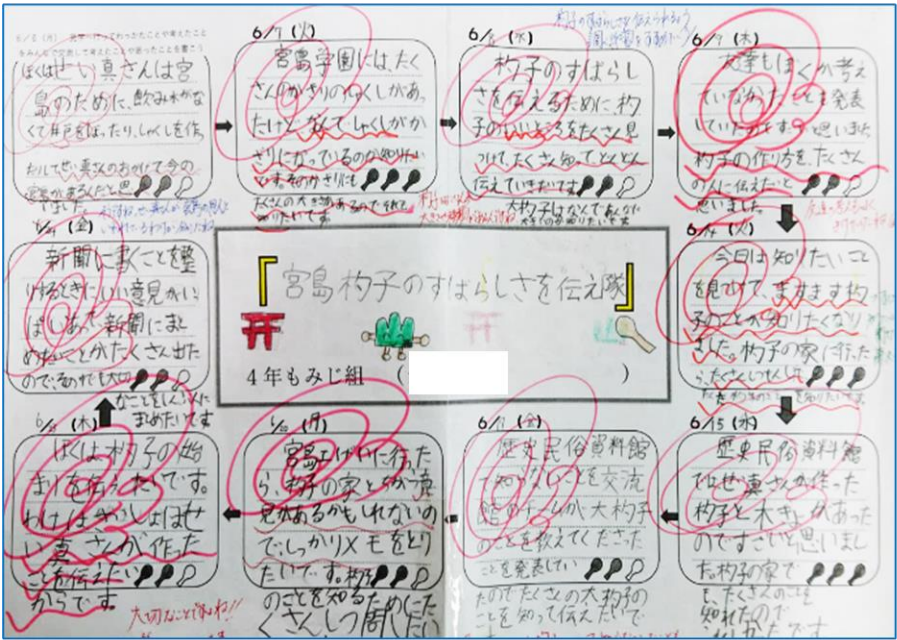
○ 宮島に新しい図書館を作るには(2年間継続)

○ 町並みを保存するには(1年目は宮島の伝統文化を残すには)

○ 宮島の生き物を守るためには
(1年目は宮島の海をきれいにするには)

○ 災害が起きても景観を守っていくためには
(1年目は宮島の海を守るには)

振り返りシートの工夫






小学校4年「宮島杓子のすばらしさを伝え隊」

総合的な学習の時間 8・9年自主課題 宮島☆未来プロジェクト【探求】		振り返りシート		名前 (姓 名)	
活動内容 (具体的に)	自己評価 (しっかり振り返り、次へつなげる)	次の活動の計画	次までに達成する目標	先生から	
前課題の振り返り 前課題で学んだことを振り返り、次へつなげる。	A 前課題で学んだことを振り返り、次へつなげる。	今日の活動で学んだことを振り返り、次へつなげる。	次までに達成する目標	先生から	
今日の活動について	A 今日の活動について振り返り、次へつなげる。	今日の活動で学んだことを振り返り、次へつなげる。	次までに達成する目標	先生から	
振り返り	A 振り返りについて振り返り、次へつなげる。	振り返りについて振り返り、次へつなげる。	次までに達成する目標	先生から	
	A PPTを少し作る	PPTの作成	次までに達成する目標	先生から	

中学校2・3年「宮島☆未来プロジェクト」

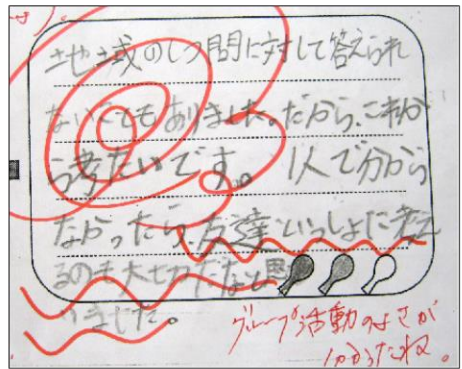
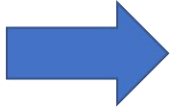
めあてに対するルーブリックを授業始めに共有

-  自分の伝えたいことを伝えることができた。
-  地域・お家のみなさんと対話することができた。
-  対話を通して、自分の考えがたしかになった。



・ルーブリックをもとに自己評価を行い、1枚ポートフォリオに蓄積した。

・児童生徒は振り返りから次の課題を見つけたり自分の学びの変容を自覚したりすることができた。



活動の計画を自分で立て、できたかどうかを振り返り、次の予定を立てる

振り返りの工夫

廊下に掲示「宮島マナビの地図」



9年間の学びを蓄積する「宮島ファイル」



・廊下には、各学年の地域での学びの様子を掲示した。

宮島ファイル(9年間)

・単元後、振り返りや成果物・資料など、自分が必要と思うものをファイルに綴じて、蓄積する。
学年を越え、単元を振り返ることができる。

(授業では) 自分の伝えたいことを筋道立てて伝える力がついたと思います。
 【伝える力】 (％)

	あてはまる	ややあてはまる	あまり	全く
R5 7月	40.3	42.6	12.4	4.7
R6 2月	39.0	47.2	13.0	0.8
変化	肯定的評価 82.9→86.2		否定的評価 17.1→13.8	

- 8割の児童生徒が「伝える力」の高まりを自覚
 児童生徒が伝える場面で手応えを感じ、自分の力の高まりを実感
- 発表場面では、相手の反応に応じて表現する姿が見られた

授業の振り返りを通して、次にやりたいことを見つけています。
 【主体性】 (％)

	あてはまる	ややあてはまる	あまり	全く
R5 7月	34.1	40.3	17.8	7.8
R6 2月	41.5	42.3	13.8	2.4
変化	肯定的評価 74.4→83.8		否定的評価 25.6→16.2	

- 8割の児童生徒が「主体性」の高まりを自覚
 地域資源を活かした単元開発・振り返りの工夫に取り組んだ成果である

学校評価アンケート結果

生活科・総合的な学習の時間で学んだ宮島のことを他の人にも紹介したいと思います。【おもてなし力】 (%)

	あてはまる	ややあてはまる	あまり	全く
R5 7月	51.2	36.4	10.1	2.3
R6 2月	52.0	37.4	9.8	0.8
変化	肯定的評価 87.6→89.4		否定的評価 12.4→10.6	

- 9割近い児童生徒が「おもてなし力」の高まりを自覚
- 5割の児童生徒が「あてはまる」の回答
宮島のことを伝えたいと「強く思う」表れといえる
- 地域の本物と出会い協働する中で、宮島への誇りや愛着をもつことができた

課題 今後に向けて



・各学年が実施単元について、**単元シート** (問い・連携先・学習過程など) に記録に残している。

【地域資源を活かした単元開発】

- 児童生徒の思いや願いに沿った単元を構成できた。しかし、時間数の不足や活動準備への教員の労力が過大。



**柔軟に運用できる計画
早目の連携機関への連絡**

- 個人探究「宮島☆未来プロジェクト」実施上の課題を整理し、実践の定着を図る。

【ルーブリック評価の活用】

- 児童生徒の資質・能力の見取りが不十分。



**これまでの蓄積のもと、設定の仕方や
見取り方についてさらに改善し実施。**

本質的な問い	10年後の宮島の自然はどうあるべきか？		
単元名	宮島の自然を守るために行動しよう	SDG's	14・15 対象学年 7年
単元を貫く問い	いま、自分たちにできることは何なのか？		
単元目標	「宮島の自然を守る」 ～自分たちにできることを考え、行動する～		
期待する児童生徒の姿	おもてなし力	自然に恵まれた宮島地域のよさがわかり、愛着を持つ。	
	伝える力	宮島の自然について相手や目的、意図に応じて工夫してまとめ、筋道を立てて表現している。	
	見つける力	自他のよさを生かしながら、協力して課題を解決しようとする。	
支援団体	団体名	支援内容	
	宮島水族館	指標生物の調査（講師）	
	丸本水産	海の環境について（牡蠣養殖から）	
	宮島支所環境 環境政策課 講師呼坂先生	山の自然について（堤防ダムから） 海の環境について（磯の生き物から）	
活動	概要	時数	
	課題発見	「宮島の自然を守る」をテーマに4グループに分かれ、具体的なテーマを決める。	2
		各グループで、テーマに関して情報を集める。	

【単元シート】

おわりに

こんな姿が見られるようになりました

- 本物にふれたときの感動・尊敬から地域にかかわろうとする。
- 「こうしたらどうかな。」と提案するなど主体的に活動する。
- 質問や意見に応答し、自分の考えをしっかり伝える。
- 地域とのかかわりから自分自身の生き方を考える。

【児童生徒】



- 教科でも児童生徒の「～したい」を大事にした単元づくりを行う。
- 児童生徒を育てるため、他の場面でも積極的に地域に働きかけ、連携する。
- 児童生徒と共に探究を楽しむ。
- 教えるだけでなく、児童生徒を支えるという授業観をもつ。

【教職員】

- 「□年生に、こんなことを伝えたいのだが・・・」「一緒に地域行事を盛り上げてほしい」など、学校への提案が増えた。
- 「産業まつり」「防災フェスタ」「高齢者ふれあいサロンで児童と交流」など、児童生徒の発表・交流の場を学校と一緒に企画。

【地域】

児童・生徒が育ち
教員に変化が見られ、
それが
地域に広がっていく・・・

